



2022年度 年主題〈つなぐって～今、わたしを生きる～〉

0・1・2歳児10月主題「ひろがる」
月のねがい
◎保育者と一緒にさんびかを歌おうとする(0)◎全身を使って繰り返し遊ぶ(0)◎思っていること、見たことを身体で表現しようとする(0)◎保育者や友だちと一緒に祈りさんびする(1.2)◎友だちとの関わりを楽しみ、様々なことを共有する(1.2)◎季節の移り変わりを全身で感じる(1.2)

3・4・5歳児10月主題「みんなちがってみんないい」
月のねがい
◎神さまからいただいている一人一人の賜物が大切にされる(3)◎好きな遊びをじっくり繰り返す中で、試したり、自分なりに工夫してみようとする(3)◎戸外で身体を動かすことも楽しみ、友だちの姿を見ながら自分もやってみようと思う(3)◎神さまが一人一人を愛し養って下さっていることを知り、喜び感謝する(4.5)◎一人一人その人(子)らしさに気づいて、おもしろさや楽しさ、素晴らしさまた難しさも感じ合う◎空の美しさや風の気持ちよさを感じながら、心身を伸びやかに動かして過ごす(4.5)



運動会のおけいこの合間に・・・

まだまだ残暑は厳しいですが、こども園のロータリーを散歩していると、帽子のついたどんぐりを発見！「あった！こっちにも！」と夢中で拾う子どもたちの姿に「秋」を感じます。9月は運動会の練習でいつもよりちょっぴり我慢もあつた1ヶ月でした。合間を見つけてほんの10分でも5分でも、息抜きタイムを取り入れたり、練習の中で、子どもたち対先生たちの対決！など楽しみをもてるように過ごしました。それらの中で、可愛いエピソードがあつたので紹介させていただきます。

練習の後、アスレチックの広場で遊んでいたあじさい組さん。Nちゃんが滑り台の階段を踏み外してしまい私の膝で泣いていると、Mちゃんがやってきて、「どうしたの？」と声をかけてくれました。それでもNちゃんは泣き止みません。すると、Mちゃんは、葉っぱを持って「あげる！」と渡そうとするのですが、Nちゃんはなかなか受け取ってくれません。そのやりとりを何度か繰り返しましたが、「いらない！」とNちゃん。そこで、「葉っぱおばけにしようか？」と葉っぱに穴を開けると、ニコッと笑顔になり、2人でお友だちに見せに走っていきました。まだまだ子ども同士だけでは解決できないことも多いですが、自分なりに考えて、友だちを慰めようと思う気持ちに心がほっこりでした。

イヤイヤ期真っ只中のあじさい組さん。毎日のようにケンカもありますが、「僕の隣空いてるよ！」「こっちに来ていいよー！」と誘ったり、優しく接しようとする言葉がチラホラ聞かれるようになってきています。

運動会という大きな行事を終えて、身体を動かすことの楽しさ、友だちと一緒に力を合わせる大切さ、作戦を考えることの面白さなどをそれぞれに感じ取り、うーんと成長していることでしょう。保護者の方には、当日までの健康管理にご協力いただき、本番の温かい応援をありがとうございました。2学期はまだまだイベント盛りだくさん！コロナに負けず、一緒に心から楽しみましょう。

大河

今月の聖句

喜んで与える人を神は愛してくださるからです。

Ⅱコリント書9:7
先日、10月で3歳になる孫と久しぶりに遊ぶ機会がありました。前もって両親に聞いて用意していた、本人が喜ぶプレゼントを渡しました。孫の心を驚かすにしたいというじいじの思惑通り、とても喜んでくれました。一つは2歳児以上向けのLEGO、もう一つは我が家で飼っているバグ犬そっくりなぬいぐるみです。LEGOで一通り遊び満足した孫は、バグのぬいぐるみを抱き上げ、なでなでしたり、頬ずりしたり、とてもお気に入りの様子。保育園で過ごしているの、自分の物とみんなの物の区別もついていきます。外出に出かける時には、「これ、持って帰っていいの？」と聞いてきます。「それは、あなたのだよ。持って帰ってね」と言うので、嬉しそうにぬいぐるみを抱きしめていました。外食も終わりに車に戻ると、車に置いてきたバグぬいぐるみにまっしぐら。「わんわん、ずっと待ってたの？もう大丈夫だよ、帰ろうね」と話しかけていました。

喜びのあるところには、微笑みが生まれます。愛の絆が生まれます。子どもたちがその絆を学ぶところは、まず第一に家庭、その次にこども園があげられるでしょう。園で色々なことに取り組みながら、自分を愛すること、他人を愛すること、共に喜ぶこと、与え合うことなどを身に付けていきます。成長するその姿は、親の喜びであり、先生たちの喜びであり、園全体の喜びです。秋を迎え、子どもたちがそのように育つことを祈ってやみません。

協力牧師 池田基宣



10月の行事予定

1日(土)	第65回運動会(雨:市体育館)
2日(日)	運動会予備日(雨:種子高)
3日(月)	振替休日(1号:弁当)
7日(金)	実りの秋パーティー
12日(水)	牛見学
18日(火)	10・11月誕生会
"	すみれ組試食会
27日(木)	すもう大会(2・3歳児)
28日(金)	すもう大会(年中・長) 弁当日

11月の行事予定

2日(水)	学校へ行こう(年長児)
5日(土)	役員会
9日(水)	秋の一日遠足・弁当日
18日(金)	給食試食会(こすもす)
22日(火)	クリスマス会予行・弁当日
26日(土)	入園説明会(11:00～)
30日(水)	給食バイキング

子どもが側にいるという恵み

心地よい秋晴れの中で、無事に運動会が開催できて感謝でいっぱいです。三年ぶりに祖父母の皆さんをお迎えし、温かな声援の中で、子どもたちの元気な姿をお見せすることができました。前日の設営から当日の運営、後片付けまでたくさんのご支援をいただき、まことにありがとうございました。

先日、園長たちの研究協議会で、県の所管の担当の方から少子化の現状について以下のような報告がありました。

九月に発表された「出生動向基本調査」によると、夫婦の平均子定数も数は前回と同じ2.0人だが、「いざれ結婚するつもり」と考える独身者は、男性が前回(H20)より4.3%ポイント減の81.4%、女性が同5.0ポイント減の84.6%と大きく減少。希望子定数は、男性1.82人、女性1.70人と前回より減少。女性で初めて二人を下回った。ちなみに西之表市の出生数は、平成七年の52.1%になっています。また、十五歳以下の人口は、昭和六十年の五、三二〇人から、令和二年には一、八二〇人となつて、三十五年前の84.2%に激減しています。当分結婚数も出生数も増える傾向はなさそうです。

さて、結婚と出産は個人の自由選択なので、とやかく言うつもりはありません。この印象深い言葉を思い出したので転記します。【子どもは、とことん無防備な姿でやって来て、とにかく神秘的。その健気な生命力にホロリとさせられてうちに旺盛なエネルギーで驚くほど確かな自己主張を展開し「天下御免」「待たない」の迫力で真剣勝負を挑んでいきます。子どもは0歳から十数年をかけて、親の忍耐力を試し、想像力に問いかけ、価値観を確立させることを続けます。「本当にやりたいことは、育児にエネルギーを奪われたくらいで決まっています。誰かに唯一絶対の人として必要とされることほど幸せなことはありません。育児には、お料理のレシピのようなお手本やサンプルなどはありません。一人ひとりのお母さんが、心理学の本を読む前に、目の前の子どもと充分に接し、他の子と比べる前に、「目の前の子を充分に愛し、教育学者の説を頼りにする前に」「子どもは学者より目の前の私の存在をずっと頼りにしている」と信じる所から、育児を始めたいと思いませんか。どうぞ子どもと悔いなく存分に接して下さい。子どもとしっかり別れるためにしっかりと愛するのです。そこから再び豊かな人生が始まります。」

子どもたちがもつとも活発な活動を展開する実りの時期です。ゆつくりと周囲の自然を観察しながら落ち着いた時間を満喫したいと思えます。大きな行事の運動会を迎えますが、何より子どもたちのしたいことを通して、いのちはずむ時となることでしょう。早寝早起き、朝ごはんをよろしくお祈りします。

園長

はいはい運動のすすめ

過ごしやすい秋の季節のなか、こども園では運動会に向けて活動しています。走ったり、身体を使った表現をしたりと、神様からいただいた体を動かし、楽しいと感じることのできる経験を積んでいきたいと思っています。

とはいっても、子どもたちの身体は様々で、走り方もいろいろです。「よいい、ドン！」スタートしたかと思いきや、転んでしまう子もいます。

人間がはいはいを経て歩くに至るまでには、大事な順序と法則があると言われます。次にあげるのははいはい効果です。

1. はいはいは、全身を使うので**血行をよくします。**
2. 両腕、両手首、両手のひらにしっかりと力を入れて体を支え、**手指の働きを滑らかにして力強くします。**
3. 両手を突っ張って胸を張り、左右の目根の筋肉を交互に動かすので、**胸の骨格筋を大きく強く育てます。骨格筋の働きの強さは呼吸力を育てます。**
4. 顔を前向きに首を立てて這うと、動きながらの注意力や平均機能を高め、**姿勢反射などの力も高めます。**(もし、姿勢反射が弱いと、・転びやすい・転んだとき前に手が出にくい・手が出ないので顔にケガをしやすい)
5. 人間は、肩から首、ほお、あごへと動きが連動するので、**はう運動がそれらをよく育てます。** あごの育ちが良くなると、**咀嚼力もよく、** 歯ごたえのあるものを好み

よくかんで食べます。あごの発達が良いと**歯並びも良くな**ってきれいに生え揃ってきます。舌などの動きも良くなって発音も上手くなり、**歯切れ良くきれいに話せるよう**になります。

はいはいの順序

- (～4ヶ月) 仰向きに寝ていることが多い
- (4～5ヶ月) 横向きまで寝返りします
- (5～6ヶ月) 仰向きからうつむきに左右どちら側にも寝返りします
- (6～7ヶ月) 腹を床につけたまま腕の力で左右へぐるぐる回ります
- (7～8ヶ月) 両腕を突っ張ってずり下がります
- (8～9ヶ月) 両手、両膝、両つま先を用いた膝つきはいはい
- (9～11ヶ月) 次第につかまり座り、つかまり立ち、つたい歩きなどをするようになります
- (11～12ヶ月) 両手をつき両膝を伸ばし高ばいをします
- (12～13ヶ月) 高ばいの姿勢から自力で立ち上がり、始歩が始まります

幼児期の子ども姿を見ていると、はう運動をしないまま幼児期に入っている子どもたちが多く、それに伴う困り感も多いように思えます。はう運動をご家庭や園の生活でうまく取入れ、よりしなやかな体、たくましい体を作っていきたいものです。

園師 愛

